

1 国語に関する調査

【特長】

- ・資料を読んで時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付くことができるかどうかを見る問題では、他の問題に比べて正答率が高い。
- ・インタビューの様子の一部から自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉えることができるかどうかを見る問題では、多くの児童が正解を選択しており、文中の発言の目的をしっかり読み取ることができている。

【課題】

- ・目的に応じて文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることができるかどうかを見る問題では、資料から言葉や文を取り上げて書くことに課題がみられる。自分が求める情報を的確に読み取り、文章にまとめて書く学習にさらに取り組んでいきたい。
- ・学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかを見る問題では、同訓異字を正しく判断して使うことに課題がみられる。漢字学習の際には、漢字を繰り返し書くだけでなく、文章の中で使う活動も充実させていきたい。

2 算数に関する調査

【特長】

- ・伴って変わる二つの数量の関係に着目し、必要な数量を見いだすことができるかどうかを見る問題では、多くの児童が問題解決のために必要な事柄を正しく選ぶことがよくできている。
- ・角の大きさについて理解しているかどうかを見る問題では、角をつくる二つの辺の条件を正しく捉えて比べることができている。

【課題】

- ・分数の加法について、共通する単位分数を見いだし、加数と被加数が共通する単位分数のいくつ分かを数や言葉を用いて記述することに課題がみられる。分数に限らず絵や図を有効に活用して事象を捉える学習活動を充実させていきたい。
- ・10%増量の意味を理解し、増量後の量が増量前の量の何倍になっているかを表すことに課題がみられる。伴って変わる二つの数量の変化の割合が百分率で表されたものを、小数や分数に変換して表す学習活動を充実させる必要がある。

3 理科に関する調査

【特長】

- ・ヘチマの花粉を顕微鏡を操作して観察するとき、適切な像にするための技能がよく身に付いている。

【課題】

- ・乾電池2個のつなぎ方について、直列につないで電磁石を強くできるものを選択することに課題がみられる。予想、実験、結果、考察という理科学習の流れを大事にしながら、知識の習得をはかっていきたい。

4 児童質問紙の結果より

【特長】

- ・いじめは、どんな理由があってもいけないことだと考えている児童が多い。日頃の学校生活の中で、些細な出来事も見逃さず丁寧に児童指導にあたってきたことや、いじめアンケートの実施により、早期にいじめにつながるような行いを見付け指導してきた成果だと考える。
- ・将来の夢や目標をもっている児童の割合が高い。また、人が困っているときには進んで助け、人の役に立つ人間になりたいと思っている児童の割合も高い。

【課題】

- ・学校の授業時間以外に、家や塾で勉強している時間が少ない。家庭学習の習慣をしっかり身に付けさせたり、興味があることに自分なりのめあてをもって取り組むよう声掛けしたりしていきたい。
- ・国語や算数の学習が好きで授業もよくわかると回答した児童の割合に比べ、それらの学習が得意だと回答した児童の割合が少ない。授業の中でできた時の達成感や自信がもてるような声掛けを工夫していきたい。

授業・学校生活の充実に向けた取組

- ・授業時数特例校制度による「シン金目タイム」を活用し、基礎学力の定着、総合的な学習の時間の充実、通常授業のさらなる発展化を図る。
- ・40分授業実施による増加コマ数を活用し、基礎・基本の習熟を図る。主に算数の考え方や計算のスキルアップを目指し、計画的に教材の準備をしたり、児童の目標別に少人数で学習を進めたりしていく。
- ・学年担任制を生かし、児童を指導・支援する際には常に複数で対応することを心掛け、必要に応じて迅速に支援チームを立ち上げる等、児童一人ひとりを丁寧に見守っていく。
- ・どんなことがあっても、いじめはいけないことだという認識のもと、お互いの違いを認め合えるクラス環境を構築していく。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと・地域の方に知っておいていただきたいこと

- ・テレビゲームやSNS、動画視聴等スマートフォンやタブレットの使用について、時間や制限、課金等に関する家庭内でのルールをお子様と話し合って決め、ルールを守った生活ができるよう、お声掛けをお願いいたします。
- ・学校の宿題を活用し、家庭学習の充実が図れるよう、お子様への声掛けや支援をお願いいたします。
- ・地域社会の一員として地域の行事などには無理のない範囲で参加し、人の役に立つ経験や人と意見交換する経験をしてほしいと思います。